

# 国際関係概論 7

林 光

2007年5月31日 木曜日

## 0 事務連絡

6/14 は休講 .

「参考文献をもっとあげてほしい」

残念ながらこの辺りになると日本語の良書が...

「レジュメ配付続けてほしい」

では続けます .

「前回の復習少しはやってほしい」

長くならない程度にやります .

「自虐史観にとらわれた左翼偏向イデオロギーを押し付けしないでください」

まず率直な感想をありがとう . 以下私の反論 .

日露戦争・日米戦争について、その争点が順に満州・朝鮮半島の支配権、中国からの撤兵であったことは左右の共通認識であると思います。左右が異なるのは、日本の動機の捉え方でしょう。つまり、左翼は日本の動機を帝国主義的利益の追求 (interest) に求め、右翼は自存自衛のためのやむにやまれぬ戦争 (survival) であったとしています。注意してほしいのは、授業ではこの日本の動機についてどちらであるとも言っていないということです。言及しなかった理由は、一つには「不完備情報こそ戦争の真因」ということを伝えるのに日本の動機はどちらでも構わない (争点さえわかればよい) からであり、一つには私が個人的に日本の動機には興味がないからです。ですからご批判は誤解です。自虐史観・自慰史観の研究・批判は授業外で好きにやっていただいて構いませんが、授業中は本筋 (この場合不完備情報 戦争) の理解に努めてください。

## 1 時間面から見た戦争の原因

前回：情報不完備性 × 交渉， 戦争

今回：コミットメントの信頼性の欠如

### 1.1 コミットメント

コミットメント commitment

：将来特定の行動をとることを相手に対し事前に明らかにすることで自分の事後的な利益を高めること

例 1 脅迫

例 2 約束

コミットメントの信頼性の欠如

：事前に最適だった行動が事後には最適でなくなり、事前の合意を裏切る動機が生じてしまう状況

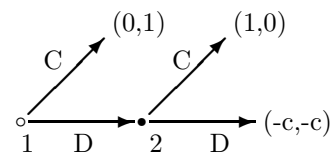


図 1: Threat Game

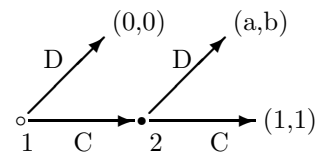


図 2: Trust Game

## 1.2 予防戦争

- ・没落しつつある A 国
- ・勃興しつつある B 国

この機を逃したら来期は負ける

今期のうちに戦争しかけよう！

本当は平和共存できればそれが双方にとりベスト

では「平和共存しよう」と約束すればよいか？

だめ．信じてもらえない．

この約束に信頼性がないのが根本原因

## 1.3 内戦

- ・多数派
- ・少数派

多「ともに新国家を建設しよう！」

少「あとになって搾取する気では？」

多「そんなことはしない．信じろ．」

少「いや信じられない」

「抵抗するなら今のうちだ」と先制攻撃

やはり約束に信頼性がないのが根本原因

# 2 レポート

## 2.1 講評

1 について以下のようなコメントがありました．

「what they have the power to do の部分で，この have は使役動詞ではないか．だとすれば to 不定詞ではなく原形不定詞が続くはずでは？」

これはまちがいです．元の文をよく見て再考してください．

They have the power to do X.

2 については上級者でも間違いやすい点に注意．

Louis XIV under William III and Marlborough

「ウィリアム3世とマールボロ公の配下のルイ14世」

と訳すのは誤りです．太陽王が誰かの配下？!

でも，だとすればどう訳したらいいでしょう？

## 2.2 課題

5. 「テロに屈してはならない」という主張についてゲーム理論の観点から論じなさい．

## 3 参考文献

アクセス安全保障論 p. 27-29, ch.6